



View+

ゲレンデでホースを走る参加者



毎日シニアスキースクール

40歳以上のスキー愛好家を対象とする毎日シニアスキースクール(日本スキーリ조트主催、毎日新聞社後援)がスタートした。長野県山ノ内町の志賀高原焼額山スキー場で11、14日にあったが、最初のツ



リフトでくつろいだ姿を見せる参加者。夕食後、コーチと共にその日の満りを振り返る参加者。昼間撮影した動画でフォームを確認する様子もある。



仲間と白銀の世界満喫

アーでは、52、84歳の48人が毎朝の検温やマスクの着用など新型コロナウイルス感染対策を講じながら、白銀の世界を楽しんだ。技術レベルに応じた班ごとに講習を受ける。初級者のクラスではターンの体重移動や足運びを指導。経験者のクラスではそれぞれの課題に取り組み、コーチがアドバイスを送っていた。目標を明確にして無理なく達成できるようコーチが寄り添ってくれるのが、特長。約4時間の講習後は、習った技術を復習したり、自由に滑ったりと、思い思いに白銀の世界を満喫していた。

1人での参加者が多いが、宿泊は基本的に相部屋で、毎朝の検温やマスクの着用など新型コロナウイルス感染対策を講じながら、白銀の世界を楽しんだ。技術レベルに応じた班ごとに講習を受ける。初級者のクラスではターンの体重移動や足運びを指導。経験者のクラスではそれぞれの課題に取り組み、コーチがアドバイスを送っていた。目標を明確にして無理なく達成できるようコーチが寄り添ってくれるのが、特長。約4時間の講習後は、習った技術を復習したり、自由に滑ったりと、思い思いに白銀の世界を満喫していた。

【藤井達也、写真】

シュプールを描く参加者—いずれも長野県山ノ内町の志賀高原焼額山スキー場で